

環境保全行動  
自動車使用管理実施 報告提出書

2025 年 7 月 30 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所  氏 名  (代表者名)	〒 003-8515
	札幌市白石区菊水6条3丁目1-26
	株式会社アレフ
	代表取締役社長 庄司 大

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第 1 3 条第 4 項 第 2 3 条第 3 項 の規定により、環境保全行動  
自動車使用管理実施 報告書を提出します。

報 告 期 間		2024 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日					
事業 の 規 模	従業員数	1472	人	原油換算した	1721.2	kl	
	使用床面積	9342.7	m <sup>2</sup>	燃料・熱・電気の合計量			
	事業所数	23	事業所	自動車使用台数	6	台	
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素 換算排出量)	エネルギー起源CO <sub>2</sub>	メタン	N <sub>2</sub> O	HFC		
		3960 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>		
	非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	PFC	SF <sub>6</sub>	NF <sub>3</sub>			
	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>		
報告書の担当部署		担当部署名					
		担当者氏名					
		電話/FAX					
		電子メールアドレス					
計画書提出根拠		条例第 1 3 条 (環境保全行動計画)			<input checked="" type="checkbox"/> 第 1 項 <input type="checkbox"/> 第 3 項		
		条例第 2 3 条 (自動車使用管理計画)			<input type="checkbox"/> 第 1 項 <input type="checkbox"/> 第 2 項		
計画期間		2022 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日					
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書		別添のとおり					
備 考							

注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の 3 月 31 日現在で記入してください。

2 事業所数は、報告年度に係る年度の 3 月 31 日現在の札幌市内事業所数を記入してください。

3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。

4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第 4 条に規定する方法により行ってください。

5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第 2 条第 5 項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。

6 ☐ のある欄には、該当する ☐ 内にレ印を記入してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書  
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】  
2022 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日  
【報告期間】  
2024 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日

行動目標	基準数値	目標削減率	2022年度結果			2023年度結果			2024年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減(単位は売上千円あたり)	0.946	3	0.772	18	○	0.699	26	○	0.664	30	○
	kg/千円	%	kg/千円	%		kg/千円	%		kg/千円	%	
事業活動に伴う水使用量の削減(単位は売上千円あたり)	12.98	3	12.5	4	○	11.2	14	○	10.7	18	○
	ℓ/千円	%	ℓ/千円	%		ℓ/千円	%		ℓ/千円	%	
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。  
2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。  
○：目標削減率を達成  
△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成  
×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理 由
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減(単位は売上千円あたり)	○	売上高が前年比4%増となったが、CO2排出量は1.5%減となった。エアコン、冷凍・冷蔵機器の計画的な更新により、エネルギー使用量の増加を抑える事が出来た。
事業活動に伴う水使用量の削減(単位は売上千円あたり)	○	売上高が前年比4%増となったが、水使用量は1%減となった。厨房機器の更新による使用量の低減等により、水使用量の増加を抑える事が出来た。